

第86回定期大会

東京清掃労働組合



第86回定期大会を開催

議長団に台東支部の長峰の挨拶に続き、ご来賓の皆様からそれぞれ挨拶を行いました。冒頭、桐田委員長

その後、議事に進み第1号議案「2017年度運動方針(案)」が坂本副中央執行委員長より提案され、3名の代議員からの発言がいずれも賛成の立場であることから、拍手による採択を議長団が判断しました。

出席代議員の過半数を超える拍手で承認されました。第2号議案「2017年度組合費について(案)」、第3号議案「2017年度予算(案)」を多田書記次長から提案。拍手で承認。第4号議案「2017年度特別執行委員の承認について」、第5号議案「2017年度統制委員の承認について」、第6号議案「2017年度中央委員と中央委員代理の承認について」一括して多田書記次長が提案し、すべての議案が満場一致で承認されました。

中央選挙運営委員を金子委員長代理から行い、「全会は終了しました。」

(西村 好勝)

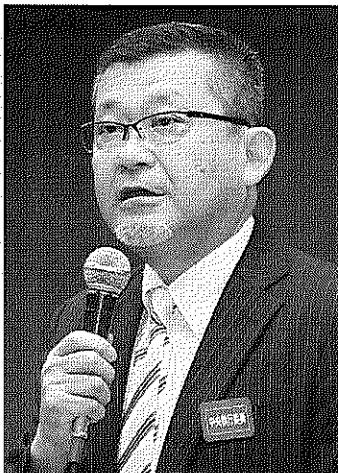
過に対する質疑の後、田中幹事から会計監査報告、多田書記次長より2016年度会計決算報告が確認されました。

その後、議事に進み第1号議案「2017年度運動方針(案)」が坂本副中央執行委員長より提案され、3名の代議員からの発言がいずれも賛成の立場であることから、拍手による採択を議長団が判断しました。

出席代議員の過半数を超える拍手で承認されました。第2号議案「2017年度組合費について(案)」、第3号議案「2017年度予算(案)」を多田書記次長から提案。拍手で承認。第4号議案「2017年度特別執行委員の承認について」、第5号議案「2017年度統制委員の承認について」、第6号議案「2017年度中央委員と中央委員代理の承認について」一括して多田書記次長が提案し、すべての議案が満場一致で承認されました。

中央選挙運営委員を金子委員長代理から行い、「全会は終了しました。」

(西村 好勝)



大会あいさつ 中央執行委員長 桐田 達也

安倍政権にNOを突きつける運動が必要

私達と住民との接点をつくる。それが大きな力になる

昨年(2015年)の定期大会で、更なる組織強化に向けて本部体制の見直しを行いました。この1年間、様々な取り組みを実施しましたが、いくつかの課題もあり、それに触れさせていただき、あいさつとします。

まずは自治研の取り組みです。この間、質の高い公共サービスとしての清掃事業

今年(2016年)の定期大会で、更なる組織強化に向けて本部体制の見直しを行いました。この1年間、様々な取り組みを実施しましたが、いくつかの課題もあり、それに触れさせていただき、あいさつとします。

まずは自治研の取り組みです。この間、質の高い公共サービスとしての清掃事業

今年(2016年)の定期大会で、更なる組織強化に向けて本部体制の見直しを行いました。この1年間、様々な取り組みを実施しましたが、いくつかの課題もあり、それに触れさせていただき、あいさつとします。

まずは自治研の取り組みです。この間、質の高い公共サービスとしての清掃事業

今年(2016年)の定期大会で、更なる組織強化に向けて本部体制の見直しを行いました。この1年間、様々な取り組みを実施しましたが、いくつかの課題もあり、それに触れさせていただき、あいさつとします。

まずは自治研の取り組みです。この間、質の高い公共サービスとしての清掃事業

公共サービスの改善・充実を図るため、組織を挙げ取り組もう

議長団に台東支部の長峰の挨拶に続き、ご来賓の皆様からそれぞれ挨拶を行いました。冒頭、桐田委員長

その後、議事に進み第1号議案「2017年度運動方針(案)」が坂本副中央執行委員長より提案され、3名の代議員からの発言がいずれも賛成の立場であることから、拍手による採択を議長団が判断しました。

出席代議員の過半数を超える拍手で承認されました。第2号議案「2017年度組合費について(案)」、第3号議案「2017年度予算(案)」を多田書記次長から提案。拍手で承認。第4号議案「2017年度特別執行委員の承認について」、第5号議案「2017年度統制委員の承認について」、第6号議案「2017年度中央委員と中央委員代理の承認について」一括して多田書記次長が提案し、すべての議案が満場一致で承認されました。

中央選挙運営委員を金子委員長代理から行い、「全会は終了しました。」

(西村 好勝)

その後、議事に進み第1号議案「2017年度運動方針(案)」が坂本副中央執行委員長より提案され、3名の代議員からの発言がいずれも賛成の立場であることから、拍手による採択を議長団が判断しました。

出席代議員の過半数を超える拍手で承認されました。第2号議案「2017年度組合費について(案)」、第3号議案「2017年度予算(案)」を多田書記次長から提案。拍手で承認。第4号議案「2017年度特別執行委員の承認について」、第5号議案「2017年度統制委員の承認について」、第6号議案「2017年度中央委員と中央委員代理の承認について」一括して多田書記次長が提案し、すべての議案が満場一致で承認されました。

中央選挙運営委員を金子委員長代理から行い、「全会は終了しました。」

(西村 好勝)

東京清掃の運動の原点は職場にあり

今年(2016年)の定期大会で、更なる組織強化に向けて本部体制の見直しを行いました。この1年間、様々な取り組みを実施しましたが、いくつかの課題もあり、それに触れさせていただき、あいさつとします。

まずは自治研の取り組みです。この間、質の高い公共サービスとしての清掃事業

今年(2016年)の定期大会で、更なる組織強化に向けて本部体制の見直しを行いました。この1年間、様々な取り組みを実施しましたが、いくつかの課題もあり、それに触れさせていただき、あいさつとします。

まずは自治研の取り組みです。この間、質の高い公共サービスとしての清掃事業

わが組合は9月25日(日)に第86回定期大会を連合会館で開催しました。今後1年間の運動方針をはじめとする6つの議案が提案され、すべてが満場一致で承認されました。

あれば、組織は強化されます。東京清掃が一体となる組織集会を今後も行います。7月の参議院選挙は、政権与党が過半数を超え、改憲勢力が3分の2を超える結果となりました。真の平和を求め、安心して働き続けることを求める私達には、厳しい結果となりました。一方、福島や沖縄では与党議員が落選していますし、鹿児島知事選では脱原発を掲げる候補が当選を果たしました。しっかりと焦点を定め安倍政権にNOを突きつける運動が必要です。

私達が推薦した自治労組織内候補「えさきたかし」が前回の得票数を上回る結果で当選することができました。ご協力いただいた組合員の皆さんにお礼を申し上げます。また、自治体で働く労働者のために国会で活動されています。今後の活躍に期待をしています。私達の要求を実現していくためには、国会で私達の意見を反映させることが極めて重要と考えます。そのため、今後とも東京清掃として政治活動をしっかりと取り組んでいくことを確認したいと思います。

前回の大会から1年間、新たな体制で取り組んできました。様々な問題の議論ができていないところは承知しています。東京清掃は一人ひとりの組合員が主体性を持って課題に取り組むことが求められていると思います。そうした意味で、本日の大会は代議員の皆さんの活発な議論を期待しています。東京清掃の強化・発展に向けてより良い大会にしていきたいと思えます。最後までのご協力をお願いしてあいさつとします。

東京清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円
編集責任者 多田修一
企画・総務 多田修一

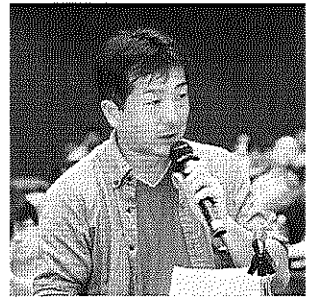
わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働者の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。



運動方針(案)に対する質疑

中野支部
西大條代議員



清掃人権交流会の活動について

今定期大会では、各支部の代議員から多岐にわたる質問・意見等の質疑が出されました。その中から主なものをピックアップし、要旨をまとめました。

一般経過報告に対する質疑

江戸川支部
早川代議員



次世代に引き継げる予算の透明化を
将来にわたる財政的な見

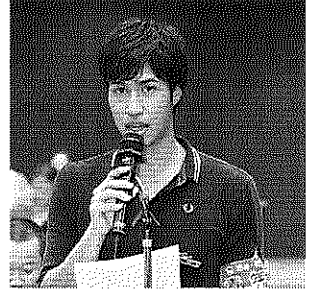
通しについて質問します。昨年大会以降、本部機能の強化として専従役員を増員して新たな組織体制がスタートしました。役員賃金について犠牲者救済資金特別会計から繰り出すことになりましたが、この犠牲者救済資金について将来的にどのくらい残すことが適切と考

えているのかお聞きしたい。また、専従役員の賃金水準について、お考えがあればお聞きしたい。次に、専従



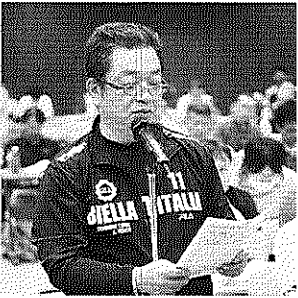
運動方針(案)に対する質疑

板橋西支部(青年部)
小阪代議員



青年部運動の更なる活性化を目指して

江戸川工場支部
山下代議員



組合役員の育成協力を

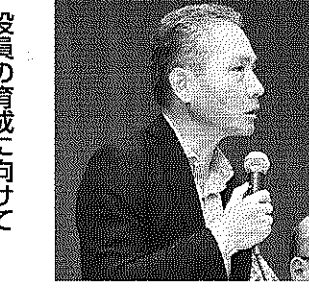
本部青年部執行委員として発言します。4月から執行委員となり、半年間活動してきました。戸惑うこともありましたが、機関会議においては討論を重ね周知の徹底を図っています。執行委員としての自覚も出てきました。これからも組合活動に邁進していきます。

組織強化対策として質問します。一組では昨年度より異動基準が策定された。同一職場で限られた年数勤務すると異動の対象となるものです。そのため支部役員

の異動が多くなっています。当局は職務のように組合役員職をバスターできると勘違いしている。そのため、役員がいなくなる支部が出るような場合どのように対応をされるのかお聞きしたい。

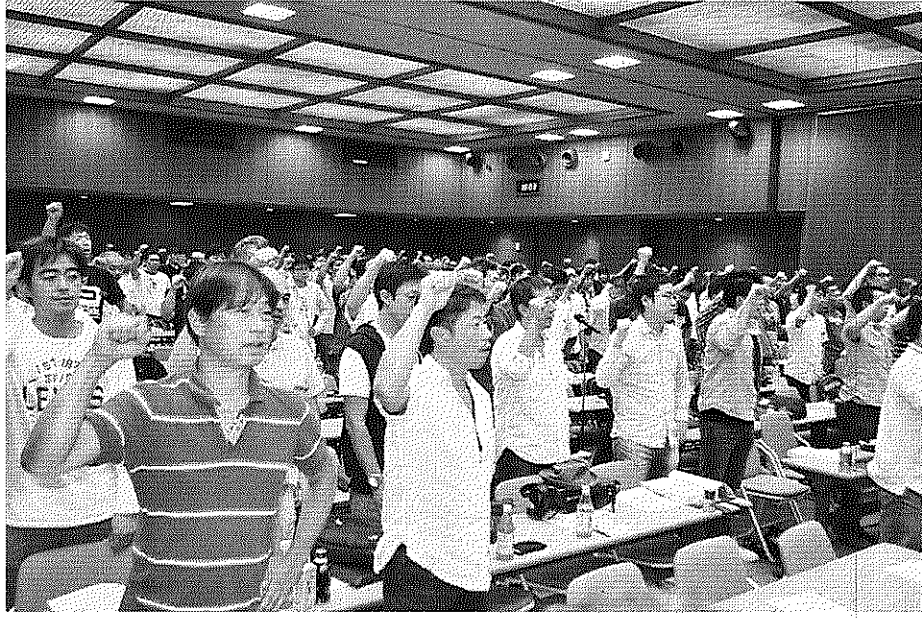
本部答弁

染書記長



役員育成に向けて

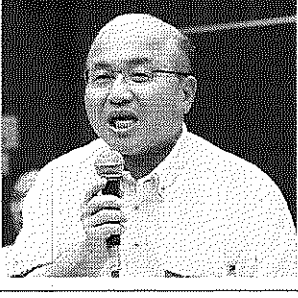
江戸川支部の早川さんから質問をいただきました。将来にわたる財政的な見通しですが、新たな組織体制については、3年ごとに検討し見直すこととしていきたいと考えています。新体制の総括というご意見で



見通しや、犠牲者救済資金特別会計をどのくらい残している点もあり、まだまだ強固な組織体制の確立に向けて努力している段階であり、総括する時期ではないと考えています。専従者(四役)会議は、様々な取り組みについて十分時間を取って議論できています。専従を増員した意義は大きいと私は認識しています。

▼3年前位に初めて平和行進に参加するために沖縄へ行った。辺野古の海は綺麗だったが、案内してくれた漁師さんは悔しそうだった。戦後71年経ったが、日本は未だに米国の占領下なのだろうか。私の母親は負けたのだから仕方ないと言っている。安全保障・TPP等、なぜ全て米国の言いなりになるのだろうか。自国民を守るより米国様なのだろうか。戦後71年、未だに米国から対等の国と見てもならない日本。沖縄の事件の後には「綱紀粛正」が言われているが形だけなのが良く分かります。

支部との協働で課題を克服



坂本副委員長

西大條代議員から報告を受けました。あらためて、清掃人権交流会の活躍に対して敬意を表します。今後東京清掃として協力させていただきます。

▼私も沖縄に行くまでは、このような事を考えもしなかった。同じ国の人間として、仲間が危険に晒されていることをもっと知ってほしい。(恵良 伸介)

